

局別審査

危機管理室、経済観光局、みなと総局 に対し局別審査を行いました



予算特別委員会で「神戸市当初予算案及び関連議案」について審議が行われますが、詳細については、この「局別審査」で各局ごとに集中的に質問し、審査を行います。吉田健吾は「危機管理室」「経済観光局」「みなと総局」に対して質問しました。

●危機管理室 2月21日

■青色防犯パトロール講習会について

Q.講習会を区役所などで機動的に開催してほしいという切実な願いである。

A.今後、県警と話し合いをしながら、広く受講ができる環境を考えていきたい。

■防犯カメラの申請期間について

Q.申請期間外でも受け付けたり、緊急的な対応をしたりすることは考えられないか。

A.申請期間外でも設置できるように、補助金要綱の改正をするなどの準備をしている。

■防犯カメラが設置されていない地域について

Q.防犯カメラが多い地域と少ない地域の差が出てきているのではないか。

A.空白地域がある。そういった地域について何らかの対策をしていく必要がある。

■国民保護訓練、自衛隊との連携について

Q.今回の訓練に自衛隊も参加していたが、神戸市と自衛隊との連携状況はどうか。

A.危機管理実務経験者の自衛隊・警察などのOBを対策員として採用している。

■観光危機管理を踏まえた訓練について

Q.クルーズ船の入港を想定した訓練等を行い、PRする必要があるのではないか。

A.神戸市観光危機管理マニュアルの策定の中でも十分に対応を議論していきたい。

●経済観光局 2月22日

■六甲山におけるコンテンツ造成について

Q.ラグビーW杯における欧米豪のインバウンド対策はどうか。

A.六甲山上を周遊してもらえるオフラインでも使用可能な多言語対応のアプリを開発。

■神戸ビーフを活用した六甲山牧場の活性化について

Q.整備される20頭分の牛舎をフルに活用できる頭数の但馬牛の飼育を期待する。

A.2021年には20頭、その後30頭まで拡大していきたい。

■ラグビーワールドカップにおける賑わいづくりについて

Q.試合終了後も神戸のまちを楽しみたい観客をおもてなしする受け皿が別途必要である。

A.既存飲食店への誘導や飲食ができるイベント会場的な受け皿の設置を検討している。

■インバウンド戦略に基づく事業展開について

Q.どのような国、宗教、性別などにどういった戦略でどれだけ伸ばすか考える必要がある。

A.欧米豪やムスリム市場など、狙いと戦略を立てて対応していく。

●みなと総局 2月26日

■クルーズ船と観光について

Q.乗客に神戸市内観光により一層目を向けてもらうための取り組みは十分か。

A.神戸観光局とも協力して素材開発調査を行い、体験型観光プログラムを試験実施していきたい。

■ウォーターフロント再開発について

Q.光のショーの実施など、夜間景観の演出について強気に推進していくべき。

A.ナイトタイムエコノミーも意識して、ハード・ソフト両面から取り組みを加速させる。

■ハーバーハイウェイのETC化について

Q.ETC整備のスケジュール、料金体系はどう検討されているのか。

A.整備まで3年を要すると考える。料金はこれから検討するが現状は維持していきたい。

神戸市政報告

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員
灘区

吉田健吾



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

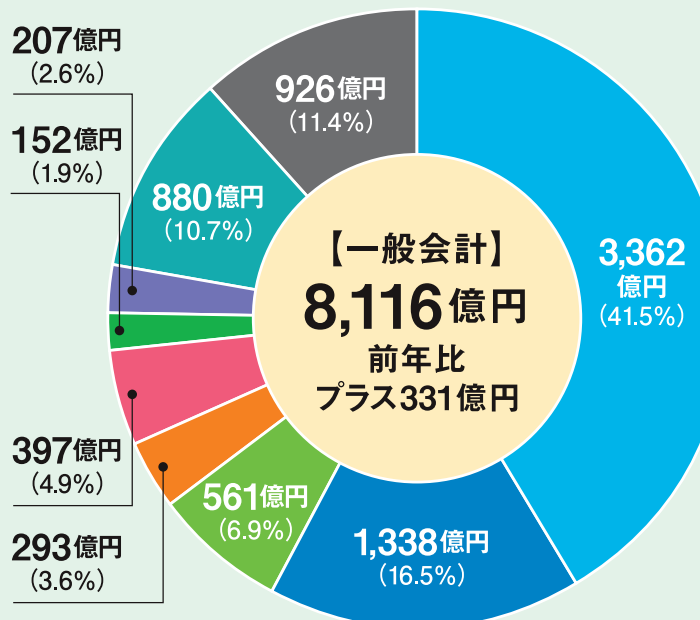
●昭和57年5月26日神戸市灘区生まれ●都幼稚園～灘小学校～鷹匠中学校～神戸高校～神戸大学発達科学部卒業(在学中は野球部に活躍)～日本生命保険相互会社～家業である株式会社ユーアイ入社～盛山正仁衆議院議員の秘書として、主に国会で政治の現場を勉強する。●平成27年4月神戸市議員選挙初当選～経済港湾委員会副委員長～福祉環境委員会副委員長●家族/妻・長男・次男●所属団体/都賀財産区管理会・都賀だんじり保存会・神戸楽生会・灘納税協会青年部会・神戸青年会議所

神戸市の予算

予算総額 1兆7,999億円

(前年比 プラス433億円)

- 一般会計:8,116億円(前年比+331億円)
- 企業会計:3,081億円(前年比-95億円)
- 特別会計:6,802億円(前年比+198億円)



- 子ども・お年寄りなどの福祉に
- 教育・文化に
- 環境・衛生に
- 住宅・まちづくりに
- 道路・交通に
- 産業の振興に
- 消防・救急に
- 区役所などの運営に
- 市債の返済に

平成31年度予算6つの柱

1. 輝く子どもたちの未来を創る
2. 健康・安全を守る
3. 街と地域を創る
4. 神戸経済を伸ばす
5. 陸・海・空の拠点を創る
6. 市政改革を進める

■ごあいさつ MESSAGE

春暖の候、本格的な春がやってきました。皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素よりご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成31年第1回定例会市会が開催され、平成31年度予算案に対する審議がされました。私は会派を代表し本会議で、「2020神戸ビジョン」「六甲山・摩耶山の活性化」「観光施策」「教育環境」について質問しました。

質疑内容について、中面に「議事録抜粋」を掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

これからも皆様の声をお伺いし、市政に反映させられるよう努力してまいります。

神戸市会議員 吉田健吾

■灘区のイベントとお知らせ INFORMATION

第26回 **なだ桜まつり**
3月30日(土) 10:00~15:00
都賀川公園・灘区民ホール
 模擬店や地域の皆さんによるダンスや太鼓など、イベントが盛りだくさんです。 ※駐車場はありません。小雨決行、荒天中止

選挙に行こう!

カウントダウンホームページを開設します

4月7日(日)は神戸市会議員・兵庫県議会議員選挙投票日です。灘区では投票日当日までのカウントダウンホームページを期間限定で開設します。

灘区内3大学の学園祭で「I vote.」(私は投票する)宣言された方の写真がカウントダウン時計として登場します。

- 開設予定期間:3月7日(木)~4月7日(日)
- ホームページ:https://ivote.city.kobe.lg.jp



子育てがしやすく、安心して暮らせる街へ。

神戸市会議員 吉田健吾事務所
〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 TEL078-861-5566 FAX078-861-3456 ●JR「摩耶駅」下車、北東へ徒歩約4分

灘区からGo!
吉田健吾
ホームページ
yoshidakengo.jp





平成31年2月18日 議事録抜粋

平成31年度第1回定例市会 本会議で平成31年度 予算案について 代表質問を行いました。

1. 2020ビジョンの目標への 今後の対応について

(1)待機児童対策について

■質問:吉田健吾
若者に選ばれるまちとして待機児童対策は必要不可欠です。特に3歳になる小規模保育園卒園児の受け皿について懸念しています。2020年までの**待機児童解消に向けて**、どのように取り組んでいくのか、またそのためにはさらなる**公有地の活用**が必要不可欠と考えますが、**公園の一角を活用する手法や市役所・区役所等の活用**を含め、あらゆる手段を尽くすべきと考えます。ご見解をおうかがいします。

■答弁:久元市長
ご指摘のとおり、小規模保育事業につきましても、3歳児になる卒園児の受け皿が課題です。平成31年度予算では、3歳以上を対象とするパーク&ライド型保育所の整備や保育送迎ステーションの設置を予定しております。今後とも、幼稚園から認定こども園への移行や保育所の新增設などにより、**3歳以降の受け皿の確保に全力で取り組んでいきたい**と思っております。

また、市役所・区役所・公園などの活用につきましてもご指摘をいただきました。平成31年度予算では、須磨区役所庁舎2階に設置する地域子育て支援拠点と合わせて、小規模保育施設を整備する予定としています。**2号館の建て替えでも検討をしていきたい**。

公有地を活用し、保育施設を整備するというのは重要な視点でありますので、あらゆる手段を尽くしたいと考えております。

(2)多子家庭支援について

■質問:吉田健吾
子育て世帯を呼び込み、出生数を確保するためには、現行のこども医療費や保育料等の負担軽減に留まらず、**多子世帯**

への子育て応援金の支給や税制優遇措置など、多子世帯ほど優遇される施策を検討し、出生数増加に寄与するための、さらに**踏み込んだ経済的支援**が必要であると考えますが、ご見解をおうかがいいたします。

■答弁:久元市長
平成28年3月に「神戸2020ビジョン」を策定し、「年間1万2000人の出生数の維持」を目標に掲げ、子育て世代をターゲットとして、経済的負担の軽減はもとより、子育て支援施策を市政の最重要課題として取り組んでまいりましたが、平成29年度本市の**出生数は1万1565人と目標を下回っている**ということは事実です。このような状況を見ますと、やはり子育て世帯に対する支援をしっかりとしていかなければいけないという認識を持ちます。

ご指摘をいただきました多子世帯に対しましても、これまで、第3子以降の子の保育料の無償化や児童手当の加算、シテイハイツの家賃減免などの施策を実施・推進をしてきています。

他都市では、一時給付金の支給など、個人給付に関する施策を行っているところですが、その効果が多子世帯の子どもに関する支出にはたして結びついていくのか、また、さらなる出生数の増加に繋がっていくのかという費用対効果の見極めも重要であろうかと考えているところであります。

現在行っている施策に留まることなく、ご指摘も踏まえながら、さらなる検討を行っていききたいと考えております。

(2)市内就職の促進について

■質問:吉田健吾
先日も新聞に**神戸市が政令指定都市で転出超過ワースト**という見出しが掲載されていた。非常に不名誉な記事だ。

本市も学生向けの就職説明会や市内中小企業の採用力強化に繋がるセミナーなどを実施しているが、東京圏への流出という構造を打破するには至っていない。

私自身神戸青年会議所の一員として若者流出問題解決に向けて、1年間各種事業を実施したが、学生側への働きかけも必要だが、**企業の採用意欲と採用力強化がさらに必要**であると強く感じた。市内就職の促進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

■答弁:岡口副市長
採用がうまくいっている中小企業はインターンシップ実施率が高いという結果が出ている。平成31年度はインターンシップに注目した支援を実施していきたい。具体的には、企業として初心者向けの導入研修、**個別企業へのインターンシップ実施支援等**により、市内企業のインターンシップの実施を促進し、企業と学生との早期接触の実現や市内企業の認知度向上を図ってまいりたい。

また、平成30年度から開始した社会人と学生の検索・交流サービス「VISITS OB」を活用した交流促進事業は企業を知ってもらう機会が増えたとしてご好評を頂いている。平成31年度は参加企業枠を拡大し、就職活動における学生の動向の把握等の側面からも企業の採用力の強化を支援していきたいと考えている。

2. 六甲山・摩耶山の活性化について

■質問:吉田健吾
六甲山上の通信環境の整備については、多額の公費投入

が必要であることなどから、未だに脆弱な通信環境であり、定住人口の増加や外国IT企業、首都圏からの企業進出のネックになっているのではないかと。

財源の確保は当然のことであるが、**六甲山の活性化**を強力に進めるためにも、**一刻も早い通信環境の整備**に取り組むべきではないか、見解を伺いたい。

■答弁:久元市長
六甲山における通信環境についてはご指摘のとおり、極めて劣悪な状況である。そこで、通信環境の早期改善に向け、光ケーブルの敷設に向けた必要な調査を平成31年度に実施し、**2020年度には光ケーブルによる通信環境の改善を実現したい**。

敷設にあたっては多額の経費を要することもあり、企業版ふるさと納税の活用を図るなど財源の確保に努めてまいりたい。通信環境が改善されることにより、六甲山を訪れる観光客にとっても**WiFiの整備やキャッシュレス化**が進む等、利便性の向上が期待できる。あるいは自然の中で働くという新たな価値を創造し、特に**都市型創造産業に資するようなオフィスの進出**を促すことにより、六甲山の魅力の向上、活性化を図ってまいりたい。

■再質問:吉田健吾
通信環境だけでなく、行ききかけとなる魅力的なコンテンツが求められる中、来年度、**六甲山牧場において但馬牛を飼育**し、一般の来場者に自由に見学していただく予定であると聞かすが、より魅力的なコンテンツにするためにも、神戸ビーフをしっかりと食べることができ施設も検討すべきではないか、また、**夜景ともしっかりセットで売って**いただきたいと考えるが、見解をうかがいたい。

■答弁:久元市長
現在ご審議いただいている平成31年度予算の中に、六甲山牧場の整備、特に、**神戸ビーフを楽しんでいただけるような整備**ができないかという予算を盛り込んでいる。

但馬牛は観光面においても魅力的なコンテンツであるが、外国人観光客への対応等を考えると、これまで以上に家畜伝染病予防対策が重要である。

その上で、来場者に遠景から放牧風景を見学していただくとともに、パネル展示などによる情報提供や、特別感のあるイベントとして事前予約の上、防護服の着用による、ガイド方式の見学セミナーを開催するというような検討も行っている。

神戸ビーフをコンテンツに加え、さらに六甲山牧場を楽しんでいただけるような対応を行ってまいりたい。

3. 神戸観光施策の推進について

■質問:吉田健吾
本市の観光振興計画としては、2020ビジョンに簡易な計画を掲げるのみであり、**市として目指すべき観光振興の方向性が明確でない**と感じている。DMOである神戸観光局では、今年度インバウンド戦略を策定しているが、本市が定める明確な指針やロードマップがないことから、まずは本市が今後の方向性を示したうえで観光振興計画を策定すべきではないか。

その上で、神戸観光局と連携を図り、今後の観光施策を展開していくべきと考えるが、本市と神戸観光局の役割につ

いてうかがいたい。

■答弁:岡口副市長
現在、市と神戸観光局では、特に重点課題であるインバウンド誘致強化に取り組んでおり、**2020年の外国人観光客数200万人という目標を設定した**。

例えば、六甲山・摩耶山の活性化については、共通の課題解決に向けて、神戸市は、光ケーブルによる通信環境整備や市街地からのアクセス改善といったインフラ整備を中心とし、また神戸観光局は、観光事業者と連携したコンテンツ開発やそのプロモーションを行うというように、**市と神戸観光局がお互いの役割を果たしながら、一体となって観光施策**を実行している。

本年9月のラグビーワールドカップの開催に始まるゴールドスポートイヤーズの到来や、2025年の大阪・関西万博の開催決定といった状況を踏まえ、役割分担をしながら、しっかりと協力・連携して実行していくことが重要であると考えている。

4. 子どもたちの教育環境について

■質問:吉田健吾
学習指導要領に伴い、2020年から小学校におけるプログラミング教育が必須化されるなど、今後の**AI等の革新的技術が普及する時代を生き抜くために**、教育現場におけるICT環境の充実が一層求められている。

来年度予算案では、電子黒板の導入や教室内の無線LANの整備等が盛り込まれており、今後**ICT環境の整備が加速化されることを期待している**が、国が示す新学習指導要領に即した十分な整備が進められる計画となっているか、ご見解をおうかがいします。

■答弁:長田教育長
平成28年度からICT活用重点推進校を3校、小学校で2校、中学校で1校指定をして、国の整備目標と同等の機器として、電子黒板や無線LANを整備し、その効果を検証してきた。

検証の結果、やはり**児童生徒の学力向上**につながる効果が認められたということ、これに加えて、また、**教員の多忙化対策**としての効果も認められたところであり、私どもとしてもICT学習環境の整備計画を策定したいというふうに現在考えている。

本市の学校のICT環境の整備ということについては、他都市に比べておけている面があることは否めないというふうに認識しており、今回の整備効果も十分見きわめながら、**一層のICT環境の整備**に向けて、引き続き検討を進めてまいりたいと考えている。

■要望:吉田健吾
例えば、**弱視のお子さん**が先生の電子黒板をそのままネットワークから自分のタブレットに映して、リアルタイムで確認することができたりということで、**教育環境の幅も広がってくる**。今後の可能性を十分にご理解いただき進めていただきたい。



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができます場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。

自由民主党神戸市議員団
神戸市議員 灘区
吉田健吾

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。

神戸市会